

『非行少年』に 寄り添う

2014年

日時 **4月27日(日)** 午後1時30分～午後5時
開場/午後1時 開演/午後1時30分

会場 **広島市青少年センター**

広島市中区基町5番61号 TEL 082-228-0447

予約不要

入場無料

【第1部】

今年も演劇が帰ってきます！

午後1時30分～(開場 午後1時)

舟入・沼田高校演劇部と
弁護士らによる演劇

『はばたけピピオ！パート5
～明日への路～』

(脚本：那須 寛、蓮見和章)

【第2部】

子どもの問題に取り組む
弁護士の対談

午後3時30分～

対談：「非行少年と弁護士達の挑戦
～少年少女は立ち直れるか？
弁護士たちは、悩み、考え、行動した～」

対談者：大谷 辰雄さん
弁護士(福岡県弁護士会所属)
中田 憲悟さん
弁護士(広島弁護士会所属)



主催 広島弁護士会 広島市中区上八丁堀2番66号 TEL 082-228-0230
共催 日本弁護士連合会 中国地方弁護士会連合会
後援 広島県 広島県教育委員会 広島市 広島市教育委員会
公益財団法人マツダ財団 NPO法人ピピオ子どもセンター

非行少年の多くは、虐待、貧困、複雑な家庭環境など、大人が作り出した要因によって深く傷つき、その影響を強く受けています。少年の更生を支援していくためには、少年を取り巻く環境に目を向け、少年が抱える問題はこういったことなのか理解することが大切です。

また現在、国のお金で少年に弁護士をつける範囲を拡大するという内容を盛り込んだ少年法改正が予定されており、本年にも改正少年法が成立する予定です。改正後は弁護士に対し少年の更生のために期待される役割がさらに増すことも考えられます。

そこでこれを機に、少年法の理念を見つめ直し、少年の更生に向けて周囲の人々がいかに寄り添っていくべきかを考えることを目的としたシンポジウムを開催します。皆さんも、演劇や対談を通して、少年の更生について考えましょう。

【第1部】

午後1時30分～(開場 午後1時)

舟入・沼田高校演劇部と弁護士らによる演劇

『はばたけピピオ！パート5
～明日への路～』

(脚本：那須 寛、蓮見和章)



「はばたけピピオ！パート4より」

～劇の紹介～

第1部の演劇は、広島弁護士会所属の弁護士らと舟入高校及び沼田高校の演劇部が出演する完全オリジナルの創作劇です。毎年子ども日記念イベントにおいて、テーマに即した劇を演じております。

5作目となる「はばたけピピオ！パート5～明日への路～」では、「少年法の理念」という例年以上に難しいテーマに挑みます。普段関わることの少ない弁護士ら大人と現役高校生からなる「劇団ピピオ」があくる、涙あり、笑いありの1時間半をどうぞお楽しみください。

【第2部】

午後3時30分～

対 談：「非行少年と弁護士達の挑戦 ～少年少女は立ち直れるか？

弁護士たちは、悩み、考え、行動した～」

対談者：大谷辰雄さん 弁護士(福岡県弁護士会所属)

中田憲悟さん 弁護士(広島弁護士会所属)

大谷辰雄(おおたにたつお)

弁護士(平和台法律事務所)。
広島県立広島皆実高等学校出身。
1977年4月 司法研修所入所(31期)
1979年4月 判事補任官
1989年4月 判事任官
1991年4月 判事退官
1991年5月 福岡県弁護士会に登録

その後、福岡県弁護士会子どもの権利委員会委員長、九弁連子どもの権利連絡会議委員長、日弁連子どもの権利委員会副委員長などを歴任。

現在は、日弁連子どもの権利委員会幹事、日弁連全面的付添人制度実現本部副本部長を務めている。

中田憲悟(なかたけんご)

弁護士(はばたき法律事務所)。
広島県立広島皆実高等学校出身。
1990年 司法研修所入所(44期)
1992年 広島弁護士会登録

その後、広島弁護士会子どもの権利委員会委員長、日本子ども虐待防止学会ひろしま大会副実行委員長、日本子ども虐待防止学会評議員などを歴任。

現在は、子ども虐待ホットライン広島代表兼事務局長、広島大学大学院法務研究科法科大学院教授(実務家専任)を務めている。